

小城市立岩松小学校
学校だより 第15号



岩松小だより

令和7年7月11日発行
発行者 校長 真子靖弘

「あじさい読書」結果発表

給食時間は、環境・放送委員会がお世話をして校内放送が行われます。

委員会やクラスからのお知らせがあったり、音楽が流れたりします。



6/27(金)の給食時間の放送で特に印象的だったのは、図書委員会の原口さんが行った「あじさい読書」の結果発表です。ユーモアを交えながら、各クラスの努力を称える原口さんの言葉選びは、聞いている子どもたちはもちろん、職員も笑顔にする素敵な発表でした。ぜひ保護者の皆様にもお伝えしたいと思い、原稿を借りてきましたのでご紹介します。

〈原口委員長による「あじさい読書」結果発表原稿〉

図書委員会からお知らせをします。

図書館前には、たくさんの鮮やかな紫陽花が咲いています。どのクラスもととてもきれいなので、ぜひ見に来てください。

では「あじさい読書」の結果発表をします。人数がクラスによって違うので、一人あたりを出して順位を決めています。それではお待ちせしました。3位から1位までを発表します。

じわじわと上位に食い込んできた。今年から高学年の仲間入り。第3位…4松。

1位を目指していたので、自分で言うのは本当に辛いです。第2位…岩松小最上級生6松

そして、接戦を見事勝ち取った第1位は…3松でした。おめでとうございます。1位に輝いた3松のみなさん全員に「ひまわりチケット」をプレゼントします。



どのクラスも大変頑張っていました。全員に拍手です。

これで図書委員会からのお知らせを終わります。

このような児童主体の委員会活動が、子どもたちの豊かな心を育み、一人ひとりが学校の主人公として、毎日を楽しく過ごせる環境づくりにつながっていることを、保護者の皆様と共有できるのは大変喜ばしいことです。これからも、子どもたちの生き生きとした活躍を随時発信してまいります。



司書 林先生が見た！子どもたちの読書事情

先日、学校司書の林先生から、子どもたちの読書について大変興味深いお話を伺いました。子どもたちの読書への向き合い方に、嬉しい変化が見られるようです。



林先生のお話によると、最近、4年生のSさんが「Kさんが読んでいた本が面白そうだったので借りにきました」と話してくれたそうです。友達の影響を受けて読書の幅を広げている素晴らしい例です。また、「あじさい読書」の期間が終わった後も、本を借りるペースが全く落ちていないとのこと。子どもたちが読書を習慣として楽しんでいる証拠でしょう。

子どもたちに特に人気な本は、「モノのなまえ辞典」や「どっちが強い!?」シリーズだそうです。いずれも好奇心をくすぐる内容の本です。

名前わかりますか？
●お刺身の下などにしかれているアレ？
●ヨーグルトの上にたまる水みたいなアレ？

150冊読書達成者表彰

7/7(月)、読書冊数が150冊を越えた12名の表彰を校長室で行いました。12名を紹介します(敬称略)。

3松 久富かずき・今村そうた

4松 原口こはる・岸川みゆ・倉成えいた

6松 田中葵真・原口陽向・山口苺楓

山口望那・池田陽菜里・今村美結・北村有緒



いじめ、体罰に関するアンケート



皆様にご協力いただいた県下一斉アンケート調査の記載内容につきましては、保護者の皆様への確認、ならびに児童・職員への聞き取りや指導を実施致しました。7/3(木)にはいじめ防止対策委員会を開催し、7件の事案をいじめとして認知し、市教育委員会へ報告致しました。今後も、毎月実施しております「〇月の心」アンケートや職員間の情報交換などを通して、いじめの早期発見・把握に努めてまいります。また、道徳教育や人権教室などを通して、子どもたちがお互いの人権を尊重し、豊かな心を育てていけるよう、取り組みを継続してまいります。